

「インクルーシブな教育」の充実に向けた効果的な研修に向けて

調査研究の目的・概要

◆課題認識

- ・児童生徒が抱える困難の多様化・複雑化に伴い、時代の変化等に対応できる教師の資質能力の育成
- ・教員研修を企画運営する事務局の研修観の転換が必要

◆調査研究の目的

- ・「理論と実践の往還」を実現した研修の開発・従前の研修方法を振り返り、体験的な研修を通して一人一人の教員がこれまでの指導について振り返る機会の創出

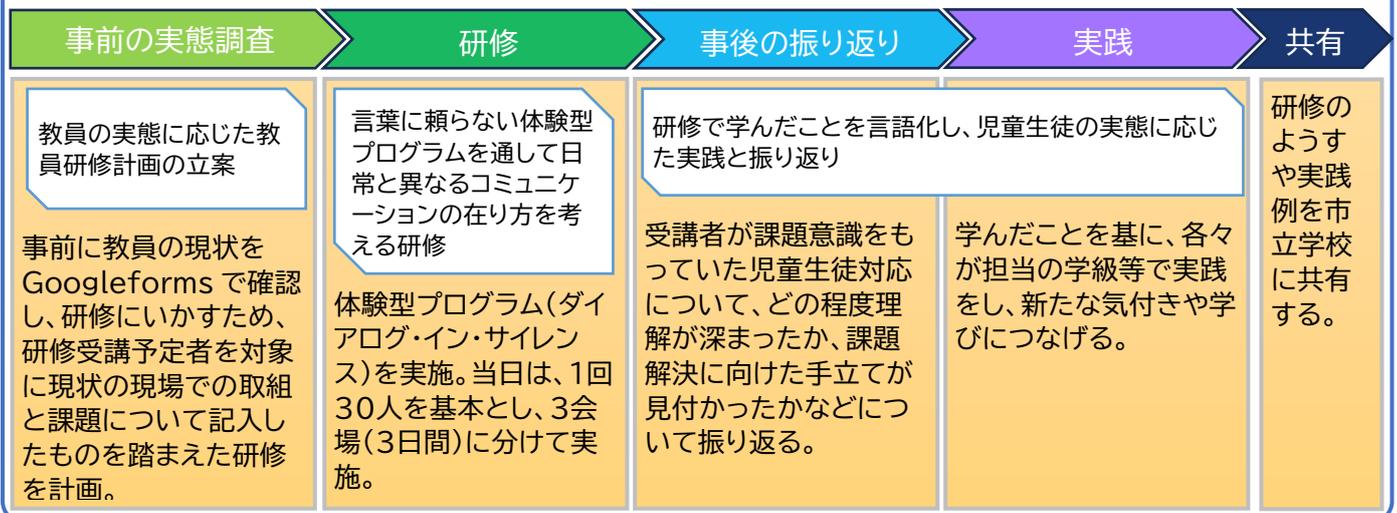
◆研究の概要

特別な支援が必要な児童生徒など多様な教育ニーズへの対応や多様性を受容し、対応できる組織づくりを図るため、新たな研修として、体験活動の中で多様なコミュニケーションのあり方を体感し、多様性理解を深めるとともに、非言語を含めたコミュニケーションについて、「新たな気づき」につなげる研修を実施する。

取組方法と取組のポイント

「インクルーシブな教育」の充実に向けた効果的な教員研修
～「理論と実践の往還」の実現を目指して～

「研修前」から「研修後」までの流れ



成果と課題

◆成果

- ・本研修プログラムを実施するにあたり、達成すべき目標(KPI)を研修後の受講者アンケートにおいて、「特別な支援を要する児童生徒に対してどのような支援が必要なのかをつかむ」「児童生徒本人との対話の中で具体的な支援を模索していくことの必要性」という項目について肯定的な回答が90%以上となり目標を達成した。
- ・体験型の研修を通して、講義型の研修ではなく、コミュニケーションに重点を置いた研修が有効であることがわかった。教員が主体的に学べるような教員研修を企画運営する事務局の研修観の転換につながった。

◆課題

- ・今回取り組んだ研修以外の教員研修について、受講者同士のコミュニケーションや振り返りの充実を図った内容への見直しが必要であること。
- ・全国教員研修プラットフォーム(Plant)を活用した研修の推進